

／みるべえく／

29

地域おこし協力隊



クラフトフェアに出店します！



「道志手帖」に連載の集落地区（月夜野く大室指）を知り、隠れた魅力を見つけたため描いていました。

板橋、長又は地元の方からの要望に加え、訪れる機会も少なかったので、絵を通じて土地のことを知る良い機会となりました。

10月10日（土）、11日（日）のクラフトフェアにこれまで描いた8つの集落絵地図の原画を展示し多くの方々に見て頂くことにしました。併せて道志村を題材にしたポストカードの販売もします。地元に対する思いを込めて描きましたのでぜひご覧ください。（千々輪岳史）

足揉みを始めてみませんか？



9月より役場の住民健康課と協力しながら足ツボケアの取組みを始めました。日頃の足揉みの方法をお伝えしながら、足を中心に揉むことで、血行促進や自己免疫力の改善をサポートさせていただいております。やはり足を揉むと、とてもリラックスできるので、気持ちいいと評判です。少しずつではありますが、上がらなかつた腕が上がるようになったり、曲がってしまった腰が真っ直ぐになってきたりと、嬉しい改善例も出てくるようになってきました。

皆さんも足揉みを始めてみませんか？ 実際に足を揉みにご自宅まで伺いますので是非、この機会にご連絡お待ちしております。

『問い合わせ先 協力隊井口 080-3090-2460（井口陽介）』

醤油搾りの出張してきました！



9月13日に都留市の高尾町通りにて『じよいつる市場』というイベントが開催されました。今回は醤油搾りの実演のために参加してきました。

都留市の方々も醤油を搾る光景は初めてみるようでした。醤油は身近な調味料ながら、つくられる工程は案外知らないものです。お客さんは搾り出た醤油に驚いていました。なかには昔、醤油を搾るのを手伝ったという年配の方もいて、当時を振り返りとても懐かしんでいました。

搾った醤油はお客さんに味見をさせていただきました。「甘い」「香りがいい」と普段使う醤油とはみなさん違うとの感想でした。やはり一から手づくりのものにはおいしさが宿るようです。道志の文化である醤油搾りを紹介する良い機会となりました。昔から続いているものも良さをこれからも伝えていけたらと思います。（中島拓哉）



9月12日、13日と、群馬県水上市で開催された野外フェスへ出展してきました。3000人規模の若い人々が自然の中で音楽ライブを楽しむイベントです。今回、「鹿の有効活用」をアピールするため、鹿皮と鹿角を用いたアクセサリー作りワークショップを開催しました。

皮は香西さんの力作。角は村内在住の木工作家の技術を借り、有意義なコラボレーションでした。（大野航輔）

鹿皮の活用を考えています。今回初めて、野外ライブに来る若者向けに鹿革のアクセサリーをつくる体験をおこないました。訪れた人は鹿の革や角、それに、展示していた毛皮に興味津々でした。革製品はどこにでもあります、道志の鹿の革は道志でしか手に入らないものです。その価値をどのようににつくっていくのか、伝えられるのか、試行錯誤しています。（香西恵）

